



第 3Q の試験ですね。試験が終わればインターバルです。前期は開講時期が遅れたおかげでなくなりましたが、インターバルはぜひうまく活用してください。そんな今号は稲角先生のエッセイ、大学院説明会のお知らせ、前期から始まった法学類の遠隔講義等についての座談会をお届けします。

◆◆教員エッセイ◆◆

第 45 回 稲角光恵先生（国際法）

アメリカが大統領選で「赤」（共和党）か「青」（民主党）かで争っている最中の先月、金沢大学では「白」が駆逐され、覇権争いに勝利を取めた「黄色」がキャンパスを染めました。

白い穂波を見せていたかつてのススキ野原が、ついに今年は一面のセイタカアワダチソウ畑へと変化したのです。盛者必衰の理と「雑草」や「外来植物」と区分する人間の傲慢さや、大量の花粉をまき散らすセイタカアワダチソウの黄色い花よりも月見シーズンに風流と感じるススキを愛でる（花粉症の）自分の身勝手さに思いを馳せつつ、探してみましたら北地区の食堂前に仲良く（？）並んでいるのを発見しました。

気象庁は生物季節観測の対象（植物 34 種、動物 23 種）を来年から 6 種目に削減すると発表しました。梅と桜と並んでススキも開花観測を継続されますが、ウグイスの初鳴き等の多くの季節指標観察が今年で最後となります。気象庁周辺の都市化の影響だそうですが文化が消えるようで寂しいです。ススキの衰退はあれど、角間キャンパスは季節の彩を感じることができるとも言えます。講義間の移動の際にも、ツクシやアザミやモミジなど、季節ごとの色を目にします。皆さんの金沢大学の思い出の片隅には、どんな小さな季節の彩が記憶をあざやかにしているのでしょうか。雪でキャンパスが白く染まるのも、そう遠くないことでしょう。



大学院説明会のお知らせ

お知らせ

法学や政治学を専門として学ぶ修士課程の大学院（法学・政治学専攻）の第2期の出願期間（12月14日（月）～12月18日（金））を控え、大学院の説明会を以下の日程で開催致します。

遠隔（Zoom）

12月 3日（木）12:25～12:35

（詳細は下記入試係までお問い合わせください）

対面

12月10日（木）12:25～12:35

（金沢大学角間キャンパス人間社会第1講義棟201講義室）

いずれも10分ほど大学院と入試の説明を行った後に個別相談に応じます。

連絡先：金沢大学人間社会系事務部学生課入試係

e-mail: n-nyusi※adm.kanazawa-u.ac.jp（送信時は※をアットマークに変えてください。）



「法学類・遠隔授業への道」インフォーマル座談会（前編）



今回は、法学類で主に遠隔授業をサポートされている先生方をお呼びして、これまでの道のりに関するそれぞれのご感想をお聞きしました。前編後編に分けてお送りいたします。

もうずいぶん前のように感じますが、今年度の第1Qから法学類では他学類に先駆けて遠隔授業の方針を打ち出しましたよね。どうしてですか？

甲：4月の段階での新型コロナの感染状況がね、人口比では東京を超えていて。

乙：不安な人もいるだろうし、他大学で感染が出た事例みたいに、大学の名前で叩かれたり、バイトや就活等への悪影響も懸念されたというのがあります。

丙：2月下旬にはすでに世界的にも危ない感じで、国際線の運航停止の話なんかも出ていましたから。3月初旬には、外国にいる学生さんたちが無事に出国して帰国できるか、気を揉みましたね。

丁：そんな中、法学類は大人数講義が多いこともあり、全学が遠隔講義の方針を打ち出す前の3月下旬頃から、他大学の状況を調べたり、オンライン講義用のツール選定等、最悪の事態を念頭に行動していました。

甲：そうそう、我々ネットやPCに詳しい(?)メンバーが、ボランティアで動員されました。

丙：機器検討のためにいろいろ買いましたね。私費で。

乙：校費で発注すると入荷が遅かったり、フットワークがね……

丙：タイミングも悪かったんですよね、ちょうど年度替わりの時期で予算も動かなくて。

そのような開講形態をとるにあたって、なにか困った点や工夫した点はありますか？

甲：初めの方は、とにかく時間との戦い、みたいなどころがありましたね。

丙：いろいろな機材の品薄感がやばかったですね、2月下旬にはヘッドセットとかウェブカメラとか、そういう機器が手に入りにくくて。

乙：Web会議システムも百花繚乱で、デファクトスタンダード(※事実上の標準)もなかった状況なので、イチから比較検討しました。他大学の資料も参考にしました。

丙：大学横断のFacebookグループの情報も助かりましたね。

乙：教員はともかく、学生さんの通信環境の現状がわからないのも問題でした。

丁：法学類では、4月早々にそのためのアンケートも実施しました。

甲：文科省の方針では遠隔講義前にアンケート実施することになってましたから。急ぎましたね。

丙：TwitterのリプライやDMで、学生さんの意見を聞いたのもよかったです。

丁：そうそう、法学類広報用のTwitterアカウントを新型コロナ対応兼用にしたんでしたね。

乙：4月5月は全学の情報発信が乏しかったからか、フォロワーが急に増えたんですよ。

甲：広報目的で立ち上げたときには全然いなかったのにねえ(笑)

乙：ちょ(笑)

甲：そういえばこの頃、遠隔授業の準備でお疲れのあまり、「誤爆」を……(笑)

丙：「わあ(・▽・)」

乙：ちょ(笑)あの時は連日の会議で意識がね……

丁：それから法学類では、最適な講義スタイルの模索という意図と、学生さんのメンタルヘルスの面なんかも考えて、第1Qからオンデマンド型以外に同時双方向型のパイロット科目も設けました。

甲：まあ、ひとり暮らしなんかだとキャンパスがロックアウトされていると誰とも顔を合わせない、なんて状況だと辛いですがもんね。

丙：教員もオンラインでコミュニケーションをとっていましたが、ロックダウン中の掲示板はとっても盛り上がりましてしたもんね。

乙：そうそう、孤立感がつらいから。一人暮らし勢の学生さんはなかなかね……

(後編に続く)

法学類HP
↑GO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課(n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。